

NAKAMURA
70th
ANNIVERSARY

本物を育む。

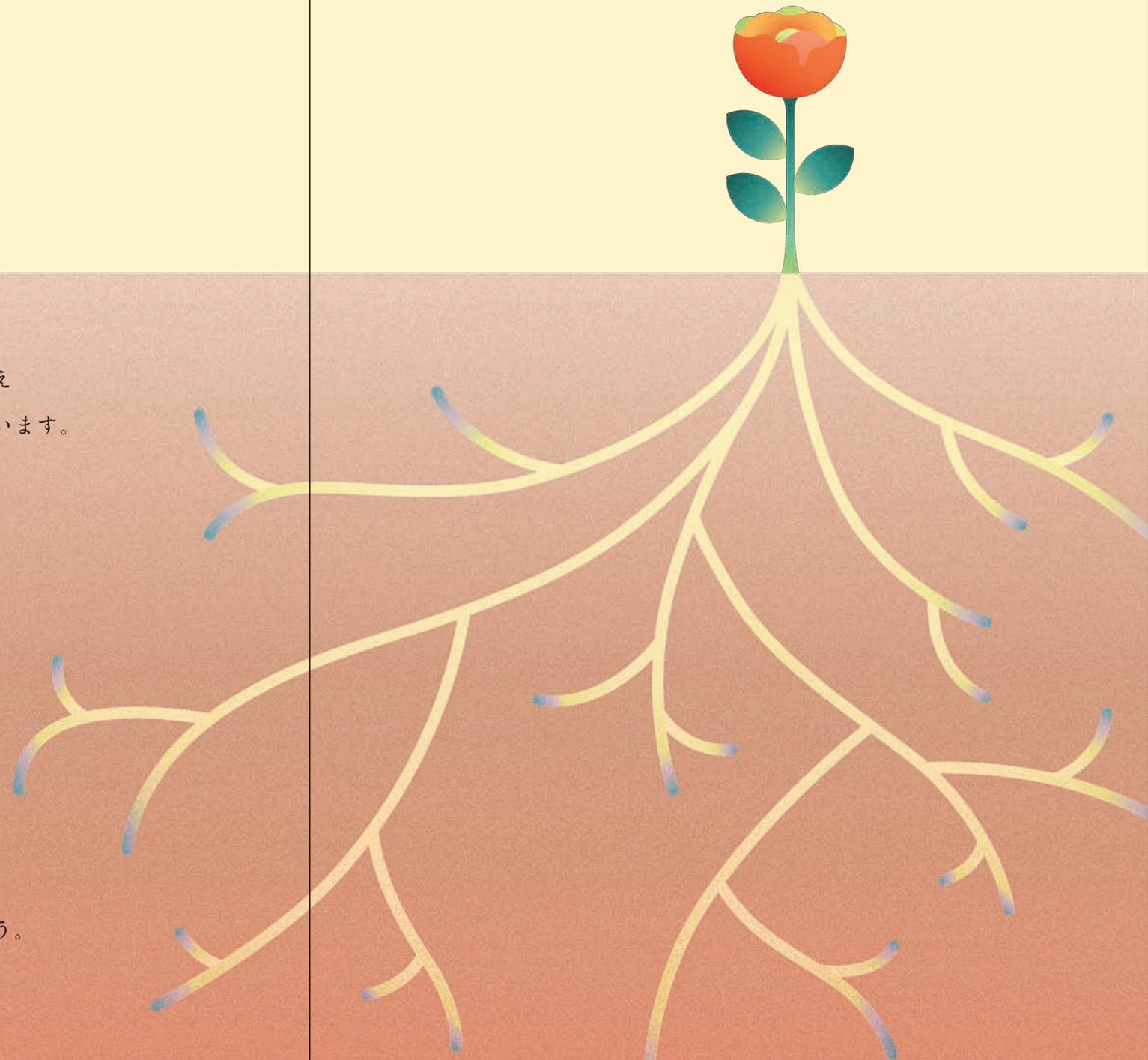


努力の上に花が咲く。

この言葉を遺した学園祖中村ハル先生は、
自分ではなく誰かのために
情熱を注いだ人生でした。
世のため人のために力を尽くす人こそ、
本物の花を咲かせることが
できるのではないのでしょうか。

利他の心を持って生きるためにも
まずは子どもたち一人ひとりが自分で考え
自ら道を切り拓けるようにならねばと思います。
子どもたちの自立した精神を育むのも、
私たちの役割でしょう。

70年間中村学園が大事にしてきた
人間教育は私たちの一番の強みであり、
いつの時代も大事にされてきた
「不易の力」だと思うのです。
次の100周年に向かう今、
あらためて人物を育てるという
私たちの根本に立ち戻り、
皆で本物の教育を追い求めていきましょう。



70th Anniversary Slogan
70周年スローガン

本物を育む。

Brand Story
ブランドストーリー

「人間は頭の良し悪しや
学力の優劣よりも何よりも
人物が出来ていることが基本である」

学園祖中村ハル先生が遺したこの言葉は
時代が変わっても受け継がれ、
私たちは人間教育を土台とした学びを
一貫して大切にしてきました。



人口減少により学校が
淘汰される時代へ入った今、
一見すると、子どもたちにとって
優しい教育が世の中には溢れつつあります。

しかし、真の優しさとは
10年後、20年後、努力の上に花が咲く
彼ら、彼女らの未来を第一に考え、
“本物の力”を育むことではないでしょうか。

私たちの使命は、
人のため、社会のため、地球のために
努力を重ねチャレンジする人物を育むこと。

今こそ利他の心で、
情熱をもって教育と向き合おう。
そして、豊かな人格を土台に
生きる力を育む本物の、一流の学びを
追求していきましょう。



ブランドパーソナリティとは？

ブランドが持つ独自の個性や気風を人格に例えたものです。ブランドの個性を際立たせ、その世界観が描き出す印象の管理や、トーン&マナー規定の土台として用いられることもあります。

全教職員にアンケートをとりました

中村学園のイメージに当てはまる言葉を選んでもらうアンケートをとりました。皆様のご協力のもと、570件の回答が集まりました。回答が多かったイメージワードを少しご紹介します。

アンケート結果をもとに、学園の未来をイメージしながら、中村学園のブランドパーソナリティを右のように決定しました。

回答が多かったイメージワード



学園リブランディング部会によるアンケートを実施（令和5年5月8日～5月22日）

生き生きとした



健康的で生き生きとし、
果敢な行動力で未来を切り拓く

進歩的な



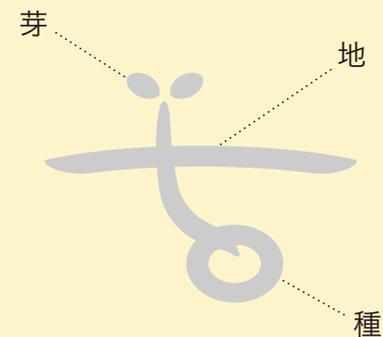
常に時代の先を行く一流の教育を提供すべく
変わり続け、挑戦し続ける

伝統的な



長い歴史の中で脈々と受け継がれた
中村学園らしい本質的な教育を貫き継承していく

70th Anniversary Logo
70周年ロゴ



「本物を育む。」というスローガンを軸に、
ブランドパーソナリティが
感じられるように意識しながら
70周年のロゴマークを作成しました。

漢数字の「七〇」で花の咲く原点である
「萌芽」を表現しました。

教職員一人ひとりが
このロゴマークを目にするたびに、

あらためて教育の本質に立ち返り、
利他の心で教育に向き合い、
本物の人物を育て、
社会にたくさんの花を咲かせ続ける。

という志に立ち返らせる
そんな願いをこめています。